

3. 乳幼児期における人権感覚を大切にしましょう

保育所（園）、認定こども園、幼稚園では、遊びや生活を通じた日々の保育すべてが人権教育につながります。子どもの発達や特性に応じた援助を行い、一人一人が認められ、自らをかけがえのない存在として実感できるように自己肯定感を高め、人権尊重の芽生えが感性として育まれるようにします。生涯にわたる人間形成の基礎を培う大切な乳幼児期に、差別を許さない人権感覚を身に付けてほしいと願っています。

乳幼児は、身近な大人である保護者や保育者等との愛着をよりどころにして少しずつ自分の世界を広げていきます。そして、自分が保護者や周囲の人々に温かく見守られているという安心感は、人に対する信頼感へとつながります。「自分が受け入れられている」「認められている」ことを感じると、自分の周りの人、友だちへと目を向けられるようになり、それが他者のことを大切に思う気持ちにつながっていきます。保育者は乳幼児との信頼関係を十分に築くことが何より重要だと考えます。

また、乳幼児は友だちや保育者との安心できる環境の中で、基本的な生活習慣を培い、自己を発揮し、言葉による思いの伝え合いを経験しながら社会性の芽生えを育てていきます。そして、他者との関わりの中で、相手の存在に気付き、他者を理解したり、尊重したりする気持ちをもって行動できるようになっていきます。さらに、身近な動植物に親しむ機会を通して、生命の大切さに気付くなど、豊かな心情が育まれます。

保育者は、乳幼児の実態や発達段階に応じて、友だちと考え合う場を設けたり、絵本や手作り教材を活用したりしながら、互いを尊重できる人間関係を築けるように援助することが大切です。そして、何より保育者が自身の人権感覚を磨き、差別を見逃さない、許さない姿勢をもつことが重要であると考えます。

※「第3次宝塚市人権教育及び人権啓発基本方針」「保育所保育指針解説」参照

保護者・保育者の愛情

0歳児

身近な人と関わる心地よさを感じる

自分の思いや欲求を伝えようと、子どもが体の動きや表情、泣きや喃語等で働きかけたときに、保育者と保護者等が応答的に触れ合ったり、言葉を添えて関わったりする。日々の中で、このような温かく丁寧な触れ合いを重ねる。

1歳以上3歳未満児

それぞれの欲求を適切に満たし、安定感をもって過ごす

子ども一人一人の行動や思いをありのまま認め、愛情豊かに見守る。子ども一人一人の発達を考慮しながら、保育者の考えや気持ちを表情や言葉などで伝え、受容的・応答的な関わりができるようにする。

3歳以上児

友だちと力を合わせる大切さを実感したい やい遊んだ満足感を味わいたい

集団での生活の様々な場面の中で友だちと困ったことなどを出し合い、解決したり、ルールを創り出したりして、互いに受け入れ合いながら自分たちで遊びを進める経験ができるように支えていく。

4. 人権教育の内容を見てみましょう

1 人権としての教育

差別や偏見などによって学ぶ機会が失われている人に学習機会の提供に努め、その人の願いがかなえられるように支援する教育です

【価値観・態度的な側面】

目標は「人権を守ろう」

- ①わたしも学びたい！
- ・学ぶことを奪われていたのだ
 - ・わたしも学ぶ場所があるのだ
- ②わたしも学べた！
- ・わたしもみんなと同じ人間なのだ
 - ・わたしはわたしであっていいのだ

具体的な取組み例

- 識字教室・人権教室
- 民族・文化を学ぶ学習
- 学ぶ場所・機会の提供
- 基礎基本の学力保障
- 自己肯定できる学び
- 個に応じた指導と評価
- 生き立ちを語る学習
- 将来の可能性を語る学習
- 資料の教材化

2 人権についての教育

生命の尊厳や人権の大切さを認識し、すべての人の人権が尊重される社会を築いていこうとする意欲や態度を育てる教育です

【知識的な側面】

目標は「人権とは何だ」

- ①人権意識が身についた！
- ・生命の尊厳は人権の基本だと分かった
 - ・憲法・人権宣言・平和宣言などの歴史とそれを守る大切さを学べた
- ②差別を解消しよう！
- ・差別や偏見の不当性が体験者や教材から学べた
 - ・人権問題に積極的に関わりたい

具体的な取組み例

- 生命の尊厳を学習
- 自然との感動体験
- 人権の歴史学習
- 差別と人権問題学習
- 部落差別・障がい・高齢・外国・性差・平和・環境・いじめ等の課題学習
- 人権擁護とその活動学習

3 人権を尊重した 生き方のための資質や 技能を育成する教育

人権尊重の理念に基づいて豊かに共生していくために必要な資質や技能を育てる教育です

【技能的な側面】

目標は「人権を育てよう」

- ①自立向上していこう！
- ・わたしの自立心が育った
 - ・わたしの個性や能力が伸ばせた
 - ・仲間の中で自分を高められた
- ②思いやりの心を持とう！
- ・さまざまな人と出会い交流できた
 - ・自他の違いを認め合えた
 - ・豊かな人間関係を築けた

具体的な取組み例

- ふるさと宝塚の学習
- 自己決定できる学習
- 個性能力が伸びる学習
- 主体的・対話的な学習
- 選択肢の多い教育活動
- 自己表現への展望学習
- ルールやマナーの学習
- 地域社会に参加と活動
- ボランティア活動参加

4 学習者の人権を 大切にしたい教育

「児童の権利に関する条約」等の趣旨をふまえ、学習者の人権が尊重された環境を作り上げる教育です

【環境条件の整備】

目標は「人権の主人公は私」

- ①わたしも大切にされる！
- ・わたしの興味・関心が大切にされる
 - ・わたしも自主的、主体的に学べる
- ②学習環境を整えてほしい！
- ・個性や能力を伸ばしてほしい
 - ・学習環境と条件を充実してほしい

具体的な取組み例

- 学習者の興味関心
- 学習者に規範意識
- 個を生かす集団育成
- 指導者の人権意識
- 隠れたカリキュラムの見直し
- 創意工夫ある教育課程
- 教育条件を整備
- 人権教育指導者の育成